



Composite to HDMI Scaler

コンポジットto HDMIコンバーター / スケーラー
型番: GTV-COMPSVID-2-HDMIS

取扱説明書



安全上の注意

この度はGefen製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- AC100V、50Hz/60Hzの電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落したり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所/極度の低温または高温の場所/湿気の多い場所/ほこりの多い場所/
振動の多い場所/風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

目次

安全上の注意	2
はじめに	4
インストール	4
オペレーション	5
仕様	5
メニュー	6
各部名称	8



はじめに

GTV-COMPSVID-2-HDMIS は、コンポジット信号もしくは S-VIDEO 信号を HDMI 信号へと変換することが可能です。また、スケーラー機能も持ち合わせているので、高解像度（1080p）で出力する事が可能です。

同梱品

Composite to HDMIコンバーター	1
コンポジットケーブル（1.8m）	1
電源アダプター	1

インストール

1. ソース機器のコンポジット（S-Video）出力から本機のコンポジット(S-Video)入力へ接続します。
2. 本機の音声入力端子（デジタル・アナログ）とソース機器の音声出力端子を接続します。
対応する音声フォーマットは以下のとおりです。

INPUT ►	TOSLINK 2 CHANNEL LPCM	TOSLINK DOLBY DIGITAL & DTS	ANALOG STEREO 2 CHANNEL
OUTPUT ▼			
HDMI	YES	YES	YES
TOSLINK	YES	YES	YES
ANALOG STEREO MINI-JACK	YES	NO	YES

3. HDMI入力対応の表示機器と接続してください。
4. Toslink、アナログオーディオ出力を使用する場合には、本機のオーディオ出力とアンプなどのオーディオ出力を接続してください。
5. 付属の電源アダプターを本機と接続してからコンセントへ差し込んでください。

※コンポジット信号とS-video信号を同時に使用する事はできません。

フロントパネルの+（プラス）ボタンを押すことで切替えることが可能です。

オペレーション

フロントパネルの Menu ボタンを押すと表示されている画面に GUI (graphical user interface) が表示されます。

GUI は、画面上に表示されます、画面になにも表示されていないときは GUI も表示されません。下記の方法で本体をリセットしてください。

・本体リセット

1. ソース機器の電源を入れ、ビデオ信号を出力してください。
2. 表示機器の電源が入っていることを確認してください。
3. フロントパネルにあるMenuボタンを押し続けそのまま電源アダプターを本機から抜きます。
4. Menuボタンを押えたまま約5秒経過したら、電源アダプターを再度接続しMenuボタンを離してください。

各ボタンは、GUIを使用する際以下の動作を行います。

MENU:画面上にメニューを表示させます。

＋：メニュー画面時・カーソルを下へ移動させます。
調整画面時・設定値を上げます。
コンポジット・S-Videoの切り替えを行います。

－：メニュー画面時・カーソルを上へ移動させます。
調整画面時・設定値を下げます。

仕様

ビデオアンプ帯域幅 (デジタル)	: 165MHz
ビデオアンプ帯域幅 (VGA)	: 10MHz
入力ビデオ信号	: 1.2Vp-p
入力 DDC 信号	: 5Vp-p(TTL)
S-Video 端子	: Mini-DIN
コンポジット端子	: RCA
電源アダプター	: 5V DC
サイズ (cm)	: 2.5H x 12.2W x 8.9D
重量	: 0.9kg

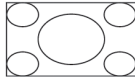
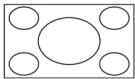

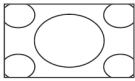

※製品の外観、仕様等は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

メニュー

■メインメニュー

メニューボタンを押すと以下のような項目が表示されます。調整したい項目に+、- ボタンを使用してカーソルを移動し、メニューボタンで決定します。

CONTRAST
BRIGHTNESS
FINE TUNE
COLOR
OUTPUT
OSD
AUDIO
INFORMATION

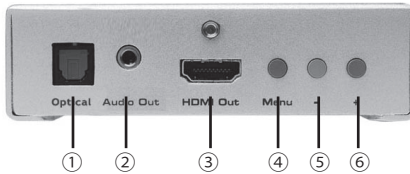
• CONTRAST	コントラストの調整が可能です。
• BRIGHTNESS	ブライトネスの調整が可能です。
• FINE TUNE	いくつかのサブカテゴリがあり、それぞれの調整ができます。 HUE：色温度を調整できます。 SATURATION：彩度の調整ができます。 SHARPNESS：シャープネスの調整ができます。 NR：ノイズリダクションの調整ができます。 EXIT：メインメニューに戻ります。
• COLOR	いくつかのサブカテゴリがあり、それぞれの調整ができます。 RED：赤の調整ができます。 GREEN：緑の調整ができます。 BLUE：青の調整ができます。 EXIT：メインメニューに戻ります。
• SIZE	以下の出力サイズが選択できます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>Full</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Underscan</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>Pan Scan</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Overscan</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <p>Letterbox</p> </div>

<p>• OUTPUT</p>	<p>任意の解像度を指定して出力することができます。</p> <table border="1" data-bbox="334 268 983 387"> <tr> <td>VGA</td> <td>UXGA</td> <td>1080i 60</td> <td>720p 50</td> <td>WSXGA</td> </tr> <tr> <td>SVGA</td> <td>480i</td> <td>1080p 60</td> <td>1080i 50</td> <td>WUXGA</td> </tr> <tr> <td>XGA</td> <td>480p</td> <td>576i</td> <td>1080p 50</td> <td>Native</td> </tr> <tr> <td>SXGA</td> <td>720p 60</td> <td>576p</td> <td>WXGA</td> <td></td> </tr> </table>	VGA	UXGA	1080i 60	720p 50	WSXGA	SVGA	480i	1080p 60	1080i 50	WUXGA	XGA	480p	576i	1080p 50	Native	SXGA	720p 60	576p	WXGA	
VGA	UXGA	1080i 60	720p 50	WSXGA																	
SVGA	480i	1080p 60	1080i 50	WUXGA																	
XGA	480p	576i	1080p 50	Native																	
SXGA	720p 60	576p	WXGA																		
<p>• AUDIO</p>	<p>SOURCE：使用するオーディオを選択してください。 DELAY：40,110,150/msec から選択できます。 SOUND：すべての音声出力をニュートできます。 EXIT：メインメニューに戻ります。</p>																				
<p>• OSD (On Screen Display)</p>	<p>OSDでは、以下の設定ができます。 H-POS：OSDの水平位置の調整ができます。 V-POS：OSDの垂直位置の調整ができます。 TIMER：OSDの表示時間の設定ができます。 BACKGROUND：OSDのバックグラウンドの透過調整ができます。 EXIT：メインメニューに戻ります。</p>																				
<p>• FACTORY RESET</p>	<p>FACTRY RESETにカーソルを合わせMENUボタンを押してください。確認の為“YES”のワードが表示されますので、FACTRY RESETする場合には、MENUボタンをもう一度押してください。</p>																				
<p>• INFORMATION</p>	<p>機器の状態を確認できます。 SOURCE：現在選択されているソースが表示されます。 INPUT：現在入力されているソースの解像度が表示されます。 OUTPUT：現在出力されている解像度が表示されます。 VERSION：ファームウェアのバージョンが表示されます。</p>																				

各部名称

正面

- ① TosLink 出力端子
- ② L/R 端子 : 3.5 mmステレオアナログオーディオ出力端子
- ③ HDMI 出力端子
- ④ MENU : 画面上にメニューを表示させます。
- ⑤ + : メニュー画面時・カーソルを下へ移動させます。
調整画面時・設定値を上げます。
- ⑥ - : コンポジット・S-Video の切り替えを行います。
メニュー画面時・カーソルを上へ移動させます。



背面

- ① アナログ RCA 音声入力端子 (L+R) : ソース機器から音声入力します。
- ② コンポジット入力端子 : ソース機器からアナログビデオ信号を入力します。
- ③ S-Video 入力端子 : ソース機器からアナログビデオ信号を入力します。
- ④ Toslink 入力端子 : ソース機器からデジタル音声信号を入力します。
- ⑤ 電源入力端子 : 付属の電源アダプターを接続します。
- ⑥ パワー LED : 電源が正常に通電している時に点灯します。

